

配転・外注化阻止でストライキ

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第9号

2011年2月3日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 D.C.会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

動労千葉の闘いに続き2・16集会の成功を勝ちとろう！



こんな会社に屈しない 千葉運転区前での抗議行動の先頭に立つ北嶋くん。うなだれる管理職に猛烈な弾劾を浴びせた (2月1日)

24年目の2・16に想うこと

全国運動呼びかけ人

世田谷地区労顧問 花輪不二男

私の労働運動は20代から今日まで地区労働運動で跳び回ってききました。その中で、国鉄分割・民営化反対闘争支援は、当初の署名運動や請願行動から数えると共に30年余に及び、私の活動に少なからぬ影響を与えてきたと思っています。

そして、また2月16日が近づいてきました。JRは24年前のこの日、国鉄の分割・民営化に反対した国鉄労働者の採用を拒否し、事実上の指名解雇を行ったのでした。私はこの分割・民営化は国家権力による偽装倒産だと考え、



社という性格の違いはありますが、事業そのものは全面的に引き継がれているのですから、雇用も引き継ぎ法人に移るといのが常識です。民営化に反対したから気に入らないと排除するのは解雇権の乱用です。それにしても1047名の闘争団はよく頑張りました。敵よりも一日長くというスローガンは長期争議の鉄則になりました。この間、道半ばで倒れた仲間も出ましたが、戦列は崩れませんでした。

国鉄分割・民営化で不当解雇から24年 2・16を忘れるな！1047名解雇撤回2・16集会

講演 国鉄分割・民営化と新自由主義攻撃の現段階

鎌倉孝夫さん
全国運動呼びかけ人
埼玉大学名誉教授



日時：2011年2月16日 (水) 18:30～
場所：すみだ産業会館 (東京都墨田区江東橋3丁目9番10号 丸井共同開発ビル8階 / JR錦糸町駅南口から徒歩1分)

(国鉄闘争全国運動2・16全国地域・職場活動者交流会)

日時：2011年2月16日 (水) 10:00～17:00
場所：ティアラこうとう (東京都江東区住吉2-28-36 地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅下車徒歩4分)

※いずれも呼びかけ：国鉄闘争全国運動

菅政権の先行きに不安要素が見える現在、雇用問題を基本的解決の残務処理としたことは今後に悔いを残すことになったかと思っています。

私たちがこの国鉄闘争を最後の勝利に導くためには、戦線の立て直しが必要です。闘争団の仲間たちも長い闘いの日々をふり返り、ホッとしたり気分とこんなはずではなかったという複雑な気持ちが交錯してい

るのではないのでしょうか。今日の新自由主義攻撃と象徴的に闘うことになった国鉄闘争に曖昧さを残すべきではありません。もし、このままの流れに委ねるようであれば、必ず第二、第三の攻撃が仕組まれる

ことは目に見えるし、すでに始まっています。働く者の生活と権利を守るのは労働者自身であり、闘いなくして前進もない現実を厳しく受けとめながら立ち上がらなくてはなりません。

2・1～2 ライフサイクル撤廃・外注化阻止 動労千葉 スト貫徹

◆北嶋君の訴え

2月1～2日、動労千葉は「ライフサイクル制度撤廃、外注化阻止」を掲げ、ストライキを貫徹しました。このストは、ライフサイクルと称する運転士の駅への不当配転攻撃を弾劾する闘いです。

俺は、個人面談では転勤や異動を希望していないし、ライフサイクルの希望アンケートには「反対している」と書き、希望は書かずに提出していま

す。今回は希望以外に異動させられる人もいます。俺たちの希望を聞き入れるつもりがないのに、面談をして希望を聞いているのです。

誠実さのかけらもない人たちが社員の希望や意志を無視し、庁舎でパソコンやって人の生活を破壊しているのです。平成探の皆さんは不安や不満、怒りの声をあげますか？ その声は所属している組合の

1月19日から約2週間、平成探の北嶋琢磨君が指名ストライキに突入し、東労組の青年たち「ともに闘いに立ち上がり」と訴え続けました。

団交の最後には「駅には行かない」「事前通知は出さないでくれ」「続けることが力になる」と自分の意志を伝えました。

交渉決裂のため19日からの指名ストを通知すると、「20日頃、事前通知が」と打診の時点で予定を急遽くり上げたかのよう

に18日に事前通知をおこなったのです。 誠実さのかけらもない人たちが社員の希望や意志を無視し、庁舎でパソコンやって人の生活を破壊しているのです。平成探の皆さんは不安や不満、怒りの声をあげますか？ その声は所属している組合の

27日号より)

国鉄1047名解雇撤回！ 労働者の怒りを一つに

沖縄から呼びかけ人 宮城盛光さん (北中城村議・元全軍労)

これが昨年1月で、1047名闘争の「和解」が4月で、日航の首切りが12月です。この流れを見ればわかる通り、これから始まることは数百万人という膨大な労働者に対する首切りです。だからあそこで1047名闘争をつぶした。

ここでこの攻撃に本当に立ち向かおうって僕は思っています。外注化で何十万、何百万の非正規雇用労働者が生み出されるんです。国鉄分割・民営化方式でこれから何百万の労働者が首を切られるんですか。こういうことに本当に立ち向かいたい。労働組合が甦らなければいけない。(引用終わり)

(1月28日、スト総決起集会の田中康宏委員長の発言より)
私は、昨年の1047名解雇問題が旗を降ろしてしまっただけで、これにどう立ち向かうか考えてきました。

社会保険庁のやり方をもう一回見直しました。それでわかったことは、国鉄分割・民営化から24年間巡って、結局敵の攻撃は全部国鉄分割・民営化方式だったということです。

どうやって社会保険庁を民営化して労働者の首を切るのかという審議会の議論があります。そこでは「これは国鉄分割・民営化と全く同じスキームでやるから不当労働行為には当たらない」という議論に満ちています。それともうひとつ、日本年金機構の設立委員会に連合の当時の事務局長・古賀を入れた。労働組合の手で社会保険庁の労働者の首を切らせた。つまり、1047名闘争に絶対になんかしないために全力を尽くしたってことです。

いま、動労千葉は85年国鉄分割・民営化反対闘争に匹敵する渾身の決起を開始しています。4月1日に強行されようとしている検修業務外注化との闘い、ライフサイクル制度撤廃の闘い、「人事・賃金制度の見直し」に対する闘い、勝浦市長選挙への挑戦。そして、3月12日にも狙われている新小岩貨物基地廃止反対の闘いです。動労千葉破壊を核心に据えた「4・9政治和解」との対決は、これらの闘いを通してさらに激しく火を噴いています。

これが全国運動の正念場です。資本、国家権力たちが国鉄分割・民営化の原点に引き戻され、労働組合運動絶滅攻撃を仕掛けてきています。動労千葉を先頭に、国鉄闘争全国運動がこれと鋭く斬り合っているの



全国運動・九州で行った餅つき大会 (2010年12月)

九州では、昨年、全国に先駆けて6・27北九州集会を開き、私と手嶋浩一(元国労九州本部書記長)さんを代表にして「国鉄闘争全国運動・九州」を結成しました。「国鉄闘争の火を消すな!」と始まった6・13国鉄闘争全国運動を全国に広げ、4・9国鉄政治和解案を拒否して立ち上がった羽廣憲さん、石崎義徳さんたち国労闘争団4名と外注化にまっ向から反対してストライキで闘い続ける動労千葉を守り、首切り自由の新自由主義と対決する新たな労働運動をつくる闘いの一翼をともに担うためです。

国鉄政治和解を拒否した羽廣さんと石崎さんは、「この和解案に応じることは、今まで闘ってきた私の人生の否定です。どうしても受け入れられません。解雇撤回を最後まで貫いて闘い勝利することは、私の生きる道です。どこまでも解雇撤回を貫き、政府・JRを絶対に許しません」と述べています。

これは、1047名当該の腹の底からの叫びであり、怒りの声です。失業と貧困が時代を覆う社会だからこそ、共鳴者が多数生まれています。私たちは、この叫びと怒りをわれわれのものとし、共通の決意としていきたいと思っています。

羽廣さんと石崎さんの決意と決断を聞き、動労千葉の獅子奮迅の闘いぶりをみて、労働者や労働組合の中から賛同の声が広がっています。九州でも9氏・2団体(1月29日現在)がこの運動の呼びかけ人を引き受けてくださいました。また昨

1047名当該の決意をわがものに

全国運動・九州代表 竹内良夫 (元九州国際大学学長)

動労千葉鉄建公団訴訟第26回公判のお知らせ

日時: 2月23日(水) 13:30~

場所: 東京地方裁判所 527号法廷

* 動労千葉争議団・中村仁さん、中村俊六郎さんの証人尋問が行われます。傍聴に駆けつけよう!

全国運動と一体で保育園の 民営化反対の大衆運動を

動労千葉を支援する会・東京西部

動労千葉を支援する会・東京西部は、昨年5月20日に結成されました。関東では千葉に続いて、また、東京6地域の先頭を切って結成されました。結成前は18会員でした。結成後、6月13日の国鉄闘争全国運動の結成を経て、11月労働者集会までに100会員という目標を掲げ、現在59会員まで拡大しました。これは東京西部労組交流センターの会員と東京西部ユニオンの組合員を中心にした「11月集会勢力」が主です。しかし、11月集会以降、拡大は止まりと止まっています。これが

案に感じることは、今まで闘ってきた私の人生の否定です。どうしても受け入れられません。解雇撤回を最後まで貫いて闘い勝利することは、私の生きる道です。どこまでも解雇撤回を貫き、政府・JRを絶対に許しません」と述べています。

多くの会員は職場での物販の取り組みを始めています。物販をアゴに職場の仲間を闘う労働組合に組織することと会員拡大は一体の闘いだと思っています。この闘いをさらに本格的に進めることです。

特に東京西部においては、4月に杉並区議選があり、東京西部ユニオンの執行委員であり、東京西部労組交流センターの会員でもある北島邦彦区議が立候補します。青年労働者の獲得、とりわけ国鉄闘争全国運動の拡大(動労千葉の外注化阻止の闘

公務員労働者の大量解雇攻撃が吹き荒れています。他方、日本の政治は乱れに乱れ、戦争の足音も聞こえます。労働組合が労働組合らしく闘い、労働者が胸を張って生きていける社会をつくること、このことが切望されています。